



ユネスコスクール便り

No.100

令和3年1月13日
大牟田市17校スクール
担当者通信

つながりを大切にし、
かかわりを深める児童生徒の育成



皆様、あけましておめでとうございます。

世界がコロナに揺れた2020年が終わり、新しい年が始まりました。世界はいまだ苦境の中にありますが、2021年が明るい希望の年になることを、皆様とともに心より願います。

さて、記念すべき100号となった今回のユネスコスクールだよりでは、大牟田のESDのこれまでの10年を振り返り、世界とともに「ESD for 2030」に取り組んでいくこれからの10年について考えていきます。

ESD for 2030 ～大牟田のユネスコスクールとして

大牟田市のESDは、大牟田市が炭鉱閉山後の持続可能なまちづくりを目指す中で、まちの未来の創り手となる子ども達を育てる教育として始まり、今日までおよそ10年の歩みを刻んできました。そして今、ESD for 2030に取り組む世界とともに、次の10年に向けて歩み出しています。

「予測困難な未来」が現実となり、持続可能な社会づくりの必要性を強く感じた2020年。そして迎えた2021年。ユネスコが追求する平和の活動を実践するユネスコスクールの役割を十分に理解し、子ども達とともに2030年に向かってSDGs/ESDに取り組んでいきましょう。“No one will be left behind.”誰一人として取り残されることのない幸せな未来のために。

ESD・大牟田市と日本・世界の動き	
1997年 3月	三池炭鉱閉山
2002年 12月	「ESDの10年」(2005年-2014年)決議を国連総会で採択
2012年 1月	大牟田市立小・中・特別支援学校がユネスコスクールに加盟
2014年 12月	「GAP※」(2014年-2019年)を国連総会で承認 ※「ESDの10年」の後継プログラム
2015年 7月	三池炭鉱関連施設がユネスコ世界文化遺産に登録
2015年 9月	国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」採択、SDGs策定
2017年 3月	大牟田市制100周年
2017年 12月	ユネスコスクール全国大会が大牟田で開催される
2019年 7月	大牟田市が内閣府「SDGs未来都市」に選定される
2019年 12月	「ESD for 2030※」(2020年-2030年)決議を国連総会で採択 ※GAPの後継枠組み
2019年 12月	大牟田市教育委員会が国の「ジャパンSDGsアワード」で特別賞を受賞
2020年 2月	大牟田市が国連大学が認定するESDの地域拠点「RCE」に認定される
2020年 3月	新型コロナウイルス感染症の拡大で緊急事態宣言
2020年 7月	令和2年7月豪雨災害、全国のユネスコスクール等から支援や激励が届く

「ユネスコスクール便り」は、平成24年9月10日に初号を発刊しました。それから約8年間、数多くの実践やESD、SDGsに関する情報を発信し続け、**100号**を迎えることができました。これまでの先生方の実践とご協力に感謝申し上げます。

ユネスコスクール便り

持続可能な開発(ESD)の学びを深め、関わりを深める児童生徒の育成

過去に発行されたユネスコスクール便りについては、各学校に配付されている冊子や、「大牟田ESDコンソーシアム」のホームページで見ることができます。今後とも、よろしくお願いいたします。

平成24年9月に発行された初号